

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
トライデントデザイン専門学校		平成1年1月31日		坂本 直之		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 河合塾学園		昭和53年8月1日		河合 弘登		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785	
目的	グラフィックデザインの専門知識と技術を身につけ、企業が求める人材を育成する。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	文化教養専門課程		グラフィックデザイン学科		平成14年文部科学省告示第19号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間		2880	420	2460	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
90人		32人		1人	8人		9人
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成果物、小テスト等による総合判定。		
長期休み	■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月24日～1月7日 ■学年末: 3月17日～3月31日			卒業・進級条件	進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個別、あるいは保護者同席での面談			課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、学園祭、デザイン研修の参加 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ゼットン、インパクトたき、アルペン、メイエイ企画、坪井花苑、愛知印刷、たから写真館、他 ■就職率 <sup>※1</sup> : 90% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 88.9% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年3月31日時点の情報)			主な資格・検定等	色彩検定 レタリング検定		
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成27年4月1日 在学者 37名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 35名 (平成28年3月31日 卒業者をを含む)		■中退率 5.4%				
	■中途退学の主な理由 経済的理由、学校不適合						
	■中退防止のための取組 個別面談、保護者会の実施。学費支援制度の導入。						
ホームページ	URL: <a href="http://design.trident.ac.jp/">http://design.trident.ac.jp/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

常に業界第一線の状況を把握し、最先端の知識や技術を学校として吸収し教育内容に反映していくことはもちろんのこと、学生への教授についても第一線の仕事のすすめ方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体、学識経験者等からの要請、提言を聴取し、該当学科、ひいては学校全体の教育運営に資することを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
原田 良樹	公益社団法人日本広告制作協会 中部支部 会長
渡邊 勝則	株式会社バウハウス 代表取締役
坂本 隆	株式会社インパクトたき

(開催日時)

第1回 平成27年6月22日 14:30～16:30

第2回 平成28年1月25日 15:00～17:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業との連携による演習等の科目においては、企業の業務水準を現実的に体感させることを主目的に設定する。疑似体験的な演習講義を通じて、企業で日常使われている技術・知識を体験、習得させる。また、授業を通じて学生たちが生み出した成果物に対する評価においても、学校という教育環境下での評価ではなく、市場を見据えた企業の現実の評価基準での判定を実施していただく。また、こうした演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

科目名	科目概要	連携企業等
「グラフィックデザインⅤ」	企業と連携して授業を進めることにより、より実際のデザインワークの流れや製品化に対しての企画・デザインの練り方を学び習得する。デザインすることは消費者あってのものであり、自分が「好きなデザイン」と「売れるデザイン」の違いを知る。	株式会社アルペン
「グラフィックデザインⅠ」	PCの基本知識、スキャナ、プリンタ等の周辺機器の使い方、PCでのデザイン制作に必要な「Illustrator」、「Photoshop」の操作方法を学習する。 印刷の基本知識(トンボの役割)、文字、写真の扱い方や、見やすいレイアウト方法も学び、簡単な印刷物デザイン制作をする。チラシ制作をするための目的・ターゲットを理解する。10月に実施される「区民まつり」のチラシ制作を通じて、リサーチ力とアピール力を身につける。実戦的にコンペ形式で競いあわせた上で、最優秀作品は、チラシとして採用される。	名古屋市中村区役所 区民生活部まちづくり推進室
「トライアルコンペⅢ」	学校に依頼されるコンペティションを中心にトライする。作品制作のスタンスとして既に存在する「いい企画」を数多く見ることを基本とする。現状における流行を上手く取り入れ、クライアントの持つイメージを損なうこと無くバランスよくデザインし、沢山のバリエーションの中からクライアントが求めるものを見つけ出し形にする。これまでに学んだデザインをベースに作品制作を通して、デザインの総合能力を身につける。実戦的にコンペ形式で競	株式会社松風屋

	いあわせた上で、最優秀作品は、バレンタインのパッケージデザインとして採用される。	
「トライアルコンペⅡ」	最新発表されるコンペや校外からの依頼に基づき、内容に適した作品を制作することを目的とする。	名古屋市市中村区役所 企画経理室
「グラフィックデザインⅡ」	学校と企業、官公庁などと連携した産学(産官)協同授業に取り組む。企業の求める広告制作を追求することを目的とする。	有限会社クリアーレ
「グラフィックデザインⅢ」	学校と企業、官公庁などと連携した産学(産官)協同授業に取り組む。企業の求める広告制作を追求することを目的とする。	中日新聞 尾張青年会 株式会社丸辰 呉竹商事株式会社
「卒業制作」	三年間の集大成として、世の中に訴えかける作品制作を目的とする半年間の中の一部時間を利用して、産学(産官)共同授業に取り組む。	側島製罐株式会社

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。ただし、個人の努力目標のみではなく、業界第一線の知識・技術の習得については学校として機会を積極的に提供していく。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても法人全体の課題として取り組んでいく。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
三木 哲郎	竹田印刷株式会社 営業第三部 副部長
伊藤 浩二	株式会社アルペン
川橋 康樹	株式会社バウハウス丸栄 取締役執行役員 中部第Ⅱ本部長
山田 雄大	有限会社たけひろ建築工房 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)ホームページにて公開

URL: <http://design.trident.ac.jp/>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)ホームページ、広報誌等の刊行物、学生便覧、入学要項

URL: <http://design.trident.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程グラフィックデザイン学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デッサンⅠ・Ⅱ・Ⅲ	造形活動をおこなう上での根幹的表現力であるデッサンの、伝統的かつ基本的手法を習得する。基本的なものの見方と姿勢を身につける。	1通	240	8	○			○		○	○	
○			コンポジション	アクリルガッシュ等を使用して平面構成を行い、色と形、そして空間とそれらの関係を理解し、構成する能力を養う。	1前	60	2	○			○			○	
○			デザイン史・色彩概論	デザインの起源から現在までの変遷を、特に近代デザインに重点を置いたデザイン史の知識を身につける。/色彩についての基本的な知識と体系を身につける。	1前	30	1	○			○		○	○	
○			感性教育Ⅰ・Ⅱ	体験的授業手法とグループワークを通し、創作者に求められる感性を育む。	1通	120	4	○			○		○		
○			グラフィックデザイン基礎	グラフィックデザインとは何かを学び、楽しくデザインする事を動機付けする。	1前	30	1	○			○			○	
○			色彩テクニックⅠ	前期に学んだ色彩の基本をベースに、デザインにおける色の重要性を習得する。	1後	30	1	○			○			○	
○			プレゼンテーションテクニック	人を納得させ、魅力あるプレゼンテーションのテクニックを習得する。	1後	30	1	○			○			○	
○			実践ポートフォリオ	企業に持参する作品集を効果的に見せる方法を身に付ける。	1後	30	1	○			○			○	
○			グラフィックデザインⅠ	レタリングを初め、文字や図形のレイアウト演習を通してグラフィックの総合的な基礎力を養う。	1前	60	2	○			○		○	○	○
○			ビジュアルグラフィックⅠ	1年生と2年生の合同授業。学年を超えた授業に取り組むことで作品制作のヒントを得る。	1後	60	2	○			○		○	○	
○			イラストレーション演習	用具・画材の知識及び技術の習得とイラストレーションの幅を広げることを目的とする。	1前	60	2	○			○		○		



○		デジタルデザインⅢ	iPadを使ったデジタルポートフォリオ制作を目的とする。	2後	60	2		○	○	○								
○		ビジュアルデザイン	文字だけでは伝わりにくい内容を図形化し、視覚的に判りやすく伝えるデザインを習得する。	2前	60	2		○	○	○								
○		ビジュアルグラフィックⅡ	1年生と2年生の合同授業。学年を超えた授業に取り組むことでデザインの向上を目的とする。	2後	60	2		○	○	○	○							
○		広告イラストレーションⅠ	平面や立体のイラストレーション制作を中心として、表現技術の向上を図ることを目的とする。	2前	60	2		○	○	○								
○		広告イラストレーションⅡ	主に広告物で使用するイラストレーション制作を通して、その表現方法を工夫することを目的とする。	2後	60	2		○	○	○								
○		写真応用	作品としての写真の撮り方を学び、グラフィックデザインにおける写真の重要性を知ることを目的とする。	2前	60	2		○	○	○								
○		トライアルコンペⅡ	最新発表されるコンペや校外からの依頼に基づき、内容に適した作品を制作することを目的とする。	2後	60	2		○	○	○	○							
○		Web基礎	Webデザインの為のコンピュータの基礎を学習し、より深いデザインと知識を学ぶ。	2前	60	2		○	○	○								
○		Web演習Ⅰ	Webデザインの基礎となるHTML、CSSの習得及びコンテンツのレイアウトを習得する。	2後	60	2		○	○	○								
○		キャリアデザインⅠ	「社会人基礎力」における「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の理解、および実践に向けた行動をとることができるようになる。	2前	30	1	○		○	○								
○		キャリアデザインⅡ	主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や、社会人・職業人としてしっかりとした勤労観や職業観を身につける。	2後	30	1	○		○	○								
○		グラフィックデザインⅣ	産学協同授業での制作を通して、企業が成し得るコミュニケーション活動を理解すると共に表現技術の向上を図ることを目的とする。	3前	60	2		○	○	○	○							
○	○	グラフィカル・ワークショップ（渡邊ゼミ・三浦ゼミ）	各専攻に応じた課題内容を吟味・把握し、求められる作品を作り上げることを目的とする。	3前	120	4		○	○	○								
○		グラフィックゼミ	実際のデザイン業界に即した知識と技術の習得を目的とする。	3前	60	2		○	○	○								

○		トライアルコンペⅢ	より難易度の高いコンペティションの参加とその入賞を果たすことを目的とする。	3前	60	2	○	○	○						
○		Web演習Ⅱ	FLASHやJavascriptを用いた動きのあるコンテンツ制作をすることを目的とする。	3前	60	2	○	○	○						
○		Webデザイン	Webサイトの多様性、視覚的情緒的にものごとを伝える方法を習得することを目的とする。	3後	60	2	○	○	○						
	○	卒業制作	三年間の集大成として、世の中に訴えかける作品制作を目的とする。	3後	300	10	○	○	○	○					
○		キャリアデザインⅢ	自己分析や社会、企業などの理解を通して、職業選択をする。	3前	30	1	○		○						○
○		就職研究Ⅰ・Ⅱ	個々の学生の目標業種に応じた取組みを行い、また、就職活動の状況を把握し、効果的に就活を進めるための総合的サポートをおこなう。	3通	60	2	○		○			○			
合計				科目	2880単位時間(96単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。